

研究課題名「伊賀市消化器がん患者ゲノム栄養研究」に関する情報公開

1. 研究課題名

伊賀市消化器がん患者ゲノム栄養研究（文部科学省研究課題名：がん化学療法時における栄養摂取量についてのゲノム情報を加味したエビデンスの確立）

2. 研究の対象

- ・2014年5月1日～2016年5月31日に、伊賀市立上野総合市民病院で行われた、「伊賀市消化器がん患者ゲノム栄養研究」に文書で参加の同意をされた消化器がん（大腸がん、直腸がん、胃がん、食道がん、膵臓がん、肝臓がん、胆管・胆嚢がん）患者の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

今回の研究では化学療法中のがん患者の栄養評価を疫学で用いる食事栄養調査の手法を用いて詳細に行うとともに、患者予後やQOLへの影響を解析することにより、わが国での治療中のがん患者への栄養介入・栄養摂取量に関するエビデンスの確立を目指すと共に、患者同意下に採血を行い、近年報告されつつある遺伝子多型がこれらの関連に与える影響についても併せて評価を行います。また、ヒトの筋肉中に存在し、脂肪酸の代謝に重要な役割を果たすカルニチンの血中濃度・錠剤による補充ががん患者の治療に与える効果についても既に確立された予後指標であるGPS（Glasgow Prognostic Scale）に基づいて合わせて評価します。

研究期間は、令和11年（2029年）3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液（血清、血漿、パフィーコートより抽出したDNA）

情報：（電子）カルテなどから得られた診療情報（性別、年齢を含む）。

本研究では、伊賀市立上野総合市民病院のがん化学療法を含む治療中の患者における栄養摂取状態についての主観的・客観的評価、QOL指標を用いた患者QOL評価を行い、がん患者の予後やQOLの改善をもたらす各種栄養の摂取量について解析を行うとともに、同意下採血の後、名古屋大学大幸キャンパスで遺伝子型決定の上、統計解析を行うことにより、わが国における遺伝子多型のタイプ別のがん患者の予後予測、及び至適栄養摂取量についてのエビデンスを確立することを目指します。また、本研究では、消化器がん患者のカルニチンの血中濃度変化とカルニチン補充による病態改善効果を、既に確立された予後指標であるGPS（Glasgow Prognostic Scale）による評価に基づいて科学的に立証することを目指します。

4. 研究組織（研究責任者・研究分担者・共同研究者）

研究題目	伊賀市消化器がん患者ゲノム栄養研究（文部科学省研究課題名：がん化学療法時における栄養摂取量についてのゲノム情報を加味したエビデンスの確立）
研究機関名	伊賀市立上野総合市民病院、名古屋大学大学院医学系研究科（共同研究実施機関）
研究責任者の職名・氏名	愛知医科大学医学部公衆衛生学講座 教授 菱田 朝陽
共同研究機関	伊賀市立上野総合市民病院 院長 田中 光司
対象とする疾患名	消化器がん（胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆管・胆嚢がん、肝臓がん、食道がん）
調査する全ての資料項目 （日常診療から得る情報も）	1. 自記式記入による生活習慣調査票から得られた情報 2. 伊賀市立上野総合市民病院における診療録

含む)	3. 提供された血液検体から得られる検査結果（栄養素濃度、遺伝情報を含む） （但し、倫理委員会の許可を得て、調査資料項目が追加される可能性があります）
-----	--

5. お問い合わせ先（研究責任者）

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒480-1103 愛知県長久手市岩作雁又 1-1

愛知医科大学医学部公衆衛生学講座 教授 菱田 朝陽（研究責任者）

（電話：0595-24-1111（代表））

愛知医科大学 研究推進部研究支援課：（0561-62-3311（代表））

伊賀市立上野総合市民病院 医事課：（0595-24-1111（代表））